

コード	10202
作成年度	22年度

基本事業評価表

基本事業名称	交流ネットワークの形成
--------	-------------

総合計画の位置付け	
政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進
施策名称	しまの交流ネットワークづくり

課コード	108	関係課名	観光物産課
主管課名	まちづくり推進課		

基本事業の目的

国内の地域や学校、団体などの相互交流の体制づくりに努めるとともに、出身者や縁故者などを通じた多様な交流ネットワークの形成を目指します。また、ふるさと応援団『上五島かんころ倶楽部』部員を通して新たな交流拡大につなげていきます。

基本事業の成果

成果指標名称 1	イベント参加回数	成果指標名称 2	*****
成果指標の積算根拠	イベント参加回数÷計画イベント開催数	成果指標の積算根拠	*****
目標達成年度	各年度	目標達成年度	*****
目標達成数値	各年度目標	目標達成数値	*****

年 度		H18	H19	H20	H21	H22	
成果指標1	目標 A	回	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0
	実績 B	回	2.0	2.0	2.0	1.0	
	達成率 B/A	%	100.0	100.0	100.0	100.0	
成果指標2	目標 A						
	実績 B						
	達成率 B/A	%					

1次評価	現状	離島振興法関係事業費で東京のイベントに参加し町のPRを行っている。ふるさと応援団「上五島かんの倶楽部」の部員拡大に努めながら、観光や物産の情報を発信している。また、平成20年度から長崎県立大学と協定を結び、大学の専門知識を活かして本町の地域づくりや施策に反映させることを目的として協定事業に取り組んでいる。
	課題	交流ネットワークを形成するためには人材の把握・育成が必要であるが、それができていない。会員制度の「上五島かんの倶楽部」、ポータルサイトの「こうてみっか」、民間の「上五島うまかもん倶楽部」の棲み分けや連携が必要である。
	改善	各課の連絡を密にし、国県の補助金を活用して交流人口を拡大するための事業を展開できる人材を育成・把握し、長崎県立大学や町人会とも連携しながらネットワーク化を図る。

2次評価	都市部における町人会組織やふるさと応援団の拡充を図ることによりネットワーク化を進め、観光、物産のPRを積極的に推進していくこと。
------	--

住民等の意見	
--------	--

町の対応	
------	--

※2次評価の公表後に住民等の意見があった場合には、再度公表するものである。